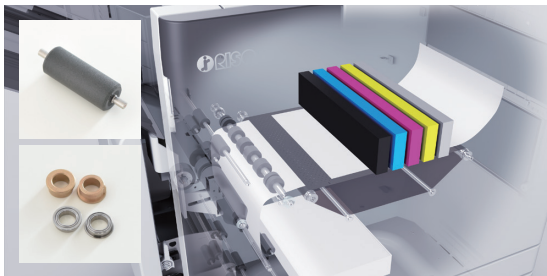




開発・生産拠点で

■ 耐久性とメンテナンス性の向上

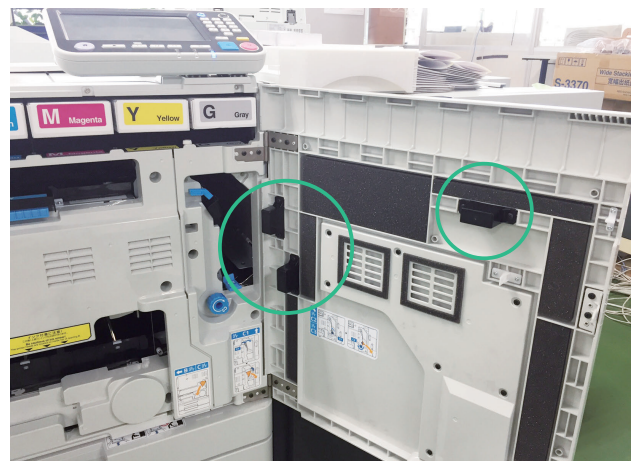
当社は、製品の耐用年数を伸ばすことで環境負荷の低減に努めています。「オフィスGDシリーズ」は、耐摩耗性に優れたダイヤモンドコートローラーや軸受部ボールベアリングの採用により、従来機の600万ページから1,000万ページに耐久性を向上しました。部品交換などのメンテナンス性も向上し、長期間にわたる高速・大量印刷に応えます。



「オフィスGDシリーズ」の高耐久部品の一部

■ リサイクル素材の使用

当社は、製品の環境性能を高めるため、資源循環に取り組み、再生プラスチックの使用にも取り組んでいます。



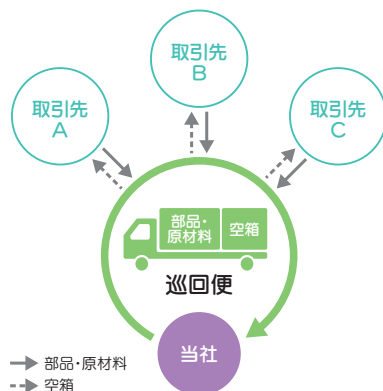
「オフィスGDシリーズ」に使用されている再生プラスチック部品の一部



調達・物流で

■ 海外工場のミルクラン(巡回集荷) 【タイ、中国】

納入業者が個々に工場へ材料や部品を納入する方式から、当社が1台のトラックにより複数の仕入れ先を巡回して集荷・納品するミルクラン方式を、日本と同様に海外の製造工場でも採用しています。これにより、積載効率が高まり輸送コストが低減するだけでなく、輸送トラックが排出するCO₂の低減にもつながり、環境負荷の低減に役立ちます。



巡回集荷のしくみ

■ リターナブルラックの運用を拡大

製品の出荷には、運搬後に回収し繰り返し使えるリターナブルラックを使用し、段ボールや発泡スチロールなどの使用量を削減しています。2016年度に発売した「オフィスFW・GDシリーズ」ではリターナブルラックでの運送を基本とし、リターナブルラックの運用を拡大しました。

〈詳細はデータブックを参照:図表15〉



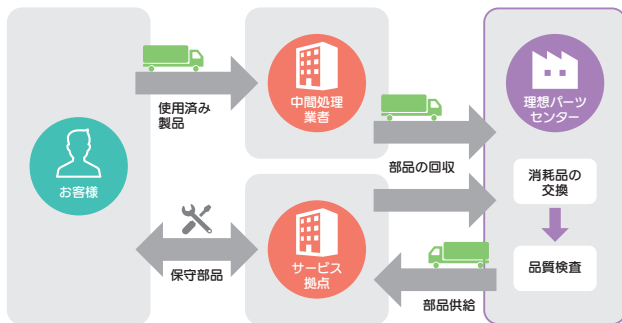
「オフィスFWシリーズ」のリターナブルラック



営業サービス活動で

使用済み製品・部品の リユースパーツ化を拡大

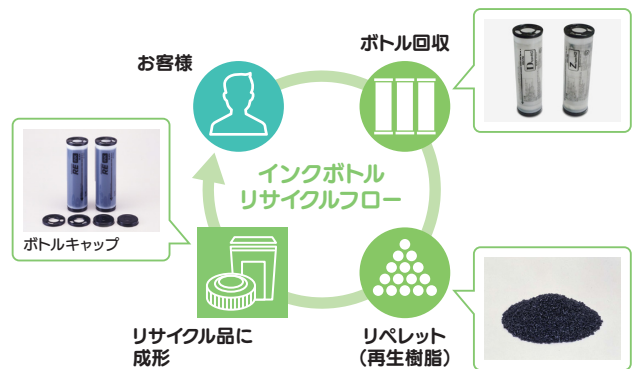
使用済みの製品・部品は可能な限り再利用を行っています。部品の一部は回収され「理想パーツセンター」で消耗部品を交換し、品質検査を経て再度市場で利用されています。2016年度は回収した使用済み製品や交換した保守部品などのリユースパーツ化の拡大とその利用促進に積極的に取り組みました。〈詳細はデータブックを参照：図表6、7〉



製品・部品の回収とリユースパーツフロー

使用済みインクボトルを回収し、 リサイクル

消耗品であるインクボトルの回収・再資源化を積極的に進めています。回収した使用済みインクボトルは粉砕し再生樹脂としてリペレットに加工した後、さまざまなプラスチック製品に成形し、製品の一部として利用されるほか、販促品や運搬用パレットなどで再利用しています。



インクボトルのリサイクルフロー



事業所で

ライトダウンキャンペーンに参加

当社は、環境省が地球温暖化防止の一環として毎年夏に日本全国で実施している「CO₂削減／ライトダウンキャンペーン」に賛同し、毎年参加しています。2016年度も夏至の6月21日およびクールアース・デーである7月7日の2日間、午後8時から10時までの2時間にわたり、筑波事業所と宇部事業所で一斉消灯を実施しました。



ライトダウンキャンペーンポスター

クールビズの実施

省エネによる温暖化対策として、電機・電子関係の業界団体が定めた行動指針に則り、毎年夏には、冷房温度を28℃とするとともに軽装での執務を奨励するクールビズを実施しています。

また、当社を訪問されるお取引先にも軽装での来社をお願いするとともに、告知・啓発用のポスターを作成し、社員一人ひとりの参加意識を高めています。



クールビズ告知ポスター